

## オリンピックスタジアム 新計画について

### ■オリンピックスタジアムの諸元の比較

項目	評価書案(平成 27 年 3 月)の記載内容	技術提案書 <sup>注)</sup> の記載内容
所在地	変わらず 東京都新宿区霞ヶ丘町 10 番 1 号ほか (東京都新宿区及び東京都渋谷区)	
地域地区	用途地域：第二種中高層住居専用地域 風致地区：第二種風致地区 (明治神宮内外苑風致地区) 文教地区：第一種文教地区 防火地区：準防火地域 高度地域：第二種高度地区	
敷地面積	約 113,000m <sup>2</sup>	約 113,000m <sup>2</sup>
建築面積	約 78,400m <sup>2</sup>	約 72,400m <sup>2</sup>
延床面積	約 219,500m <sup>2</sup>	約 194,000m <sup>2</sup>
最高高さ	約 70m	約 50m
工事予定期間	平成 27 年度～平成 30 年度	平成 28 年度～平成 31 年度
竣工時期	平成 30 年度	平成 31 年度

### ■技術提案書<sup>注)</sup>による施設計画の概要

- ・オリンピック競技大会時約 6 万人収容の観客席をコンパクトに配置
- ・最高高さを 50m 以下とし、景観に馴染むよう配慮
- ・集成材と鉄によるハイブリッドの屋根構造を採用
- ・周辺緑地とつながる緑のネットワークを形成
- ・外苑の杜につながる大樹と雨水を利用したせせらぎの創出
- ・植栽を施した軒庇を重ねることで、潤いのある快適な環境を創出
- ・様々な人のアクセスに配慮したユニバーサルデザインを導入
- ・観客が円滑で安全に避難できるような計画
- ・使用部材のユニット化や工場製作による現場作業の効率化

◎計画地、敷地内配置は概ね変わらず、道路等の周辺状況にも変化なし

◎旧計画に比較して高さ等が下回るものの、一定程度の建築規模あり

※新計画の環境影響評価の項目について確認し、旧評価書案から変更すべき項目はないと考えられる (旧評価書案では、環境影響評価の項目として、「水質等」および全体計画で評価する 9 項目以外は全て選定)

新計画についても、旧評価書案と同じ環境影響評価の項目ならびに現況調査内容により、再度、環境影響評価を実施する。

注)「新国立競技場整備事業 技術提案」(新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体 平成 27 年 11 月)を基に作

技術提案書の会場の概要

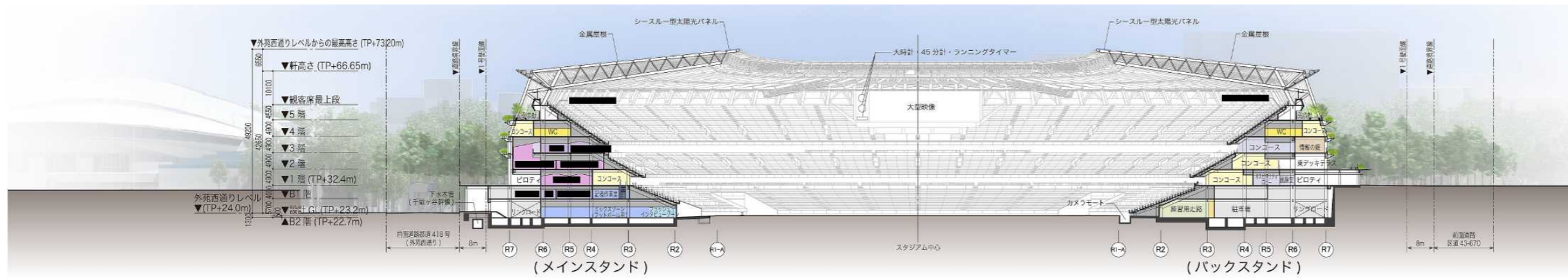
項目	内容
競技	オリンピック：開・閉会式、陸上競技、サッカー パラリンピック：開・閉会式、陸上競技

【イメージ図】

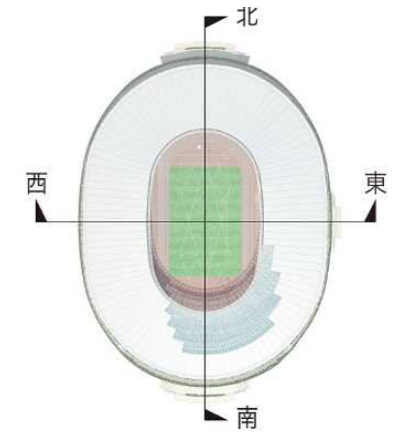


出典：「新国立競技場整備事業 技術提案」（新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体 平成 27 年 11 月）

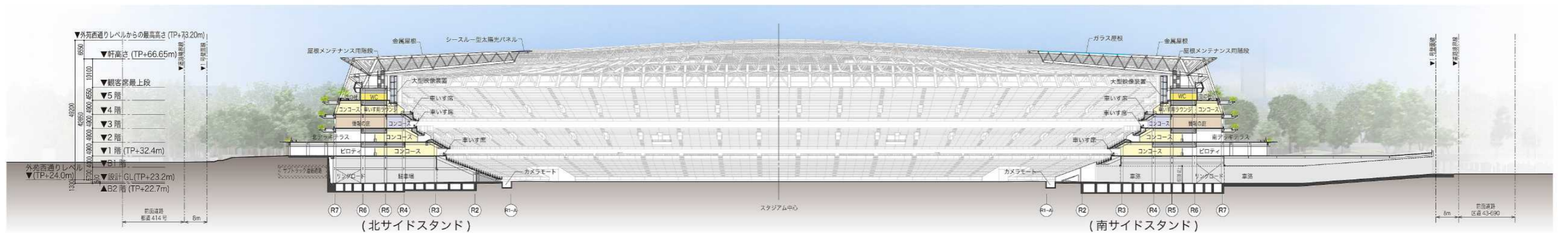




東西断面図 (オリンピック・パラリンピック競技大会開催時) S=1/1000



キープラン



南北断面図 (オリンピック・パラリンピック競技大会開催時) S=1/1000

出典：「新国立競技場整備事業 技術提案」(新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体 平成27年11月)より抜粋。

断面図

## 8. 環境影響評価の項目

環境影響評価の項目は、図 8-1 に示す手順に従い、会場事業計画の内容を基に環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響要因を抽出し、地域の概況及び社会経済情勢等を勘案して選定した。

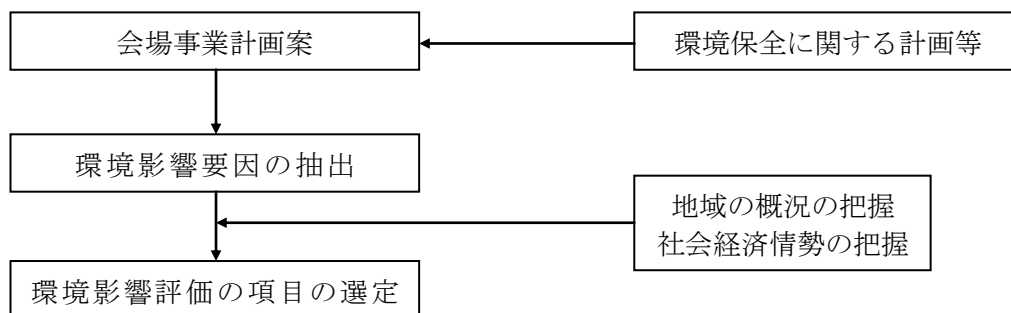


図 8-1 環境影響評価の項目の選定手順

環境影響要因は、東京 2020 大会の開催前、開催中及び開催後について、表 8-1 に示すとおり設定した。東京 2020 大会の開催にあたっては、本事業で整備する施設のほかに、計画地及びその周辺に大会関連用の仮設工作物の設置を行う予定であるが、現時点ではこれらの仮設工作物の諸元が未定である。また、東京 2020 大会の開催中における大会の運営等についても、現時点では具体的な計画が未定である。このため、本評価書では、表 8-1 に示す環境影響要因のうち、計画の具体性の高い環境影響要因を対象とすることとし、仮設工作物や大会の開催中に係る環境影響要因は対象としなかった。これらの仮設工作物や大会の開催中に係る環境影響評価は、今後の計画の熟度に応じて、改めて環境影響要因の抽出及び環境影響評価の項目を検討し、別途実施する予定である。

なお、計画地に隣接する東京体育館においても仮設工作物の設置を行う予定であるが、工作物の諸元や施工時期が明らかになった段階で、本事業との複合影響も含めて環境影響評価の実施を検討する。

表 8-1 抽出した環境影響要因

区分	環境影響要因		内容
開催前	恒設施設	施設の建設	掘削工事、躯体工事等に伴う影響
		工事用車両の走行	建設工事のうち、工事用車両の走行に伴う影響
		建設機械の稼働	建設工事のうち、建設機械の稼働に伴う影響
		建築物の出現	建設工事終了後の建築物の出現や建築物の存在に伴う影響
	仮設工作物	施設の建設	掘削工事、躯体工事等に伴う影響
		工事用車両の走行	建設工事のうち、工事用車両の走行に伴う影響
開催中	競技の実施	大会の運営	大会開催中の関係車両の発生集中交通、会場設備等の稼働、その他大会の運営に伴う影響
		大会の運営	大会開催中の関係車両の発生集中交通、会場設備等の稼働、その他大会の運営に伴う影響
	仮設工作物	解体工事	東京 2020 大会の仮設工作物の解体工事に伴う影響
		工事用車両の走行	解体工事のうち、工事用車両の走行に伴う影響
建設機械の稼働		解体工事のうち、建設機械の稼働に伴う影響	
恒設施設	設備等の持続的稼働	東京 2020 大会後の施設の継続的利用に伴う影響	

注) 網掛けは、本評価書案では対象としない環境影響要因を示す。

選定した環境影響評価の項目は、表 8-2(1) 及び(2) に、選定した理由は、表 8-3(1)～(3) に、選定しなかった理由は、表 8-4 に示すとおりである。

表 8-2(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連

環境影響評価の項目		区分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後								
			施設の建設(仮設除く)	工事用車両の走行(仮設除く)	建設機械の稼働(仮設除く)	建築物の出現(仮設除く)	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働			
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度 ・ アスリートへの影響の程度	○	○			○					○		
		水質等	・ 水質の変化の程度 ・ アスリートへの影響の程度												
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量	○										○	
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物・生態系の賦存地の改変の程度 ・ 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度	○										○	
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度	○										○	
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度	○										○	
			・ 湧水流量の変化の程度												
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度	○											○
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度	○											○
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度												
	・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度		○											○	
	・ 生態系の変化の内容及びその程度		○											○	
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度	○											○		
	・ アスリートへの生物等の影響の程度														
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度	○											○	
生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○											
		・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○							
		・ 建設機械等の騒音及び振動			○										
・ 会場設備等からの騒音及び振動															
・ 競技実施に伴う騒音及び振動						○									
日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度				○								○		
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度				○								○		
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物				○								○		
アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○							○		
		・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度				○							○		
		・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				○							○		
		・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度				○							○		
		・ 圧迫感の変化の程度				○							○		
		・ 緑視率の変化の程度				○							○		
	・ 景観阻害要因の変化の程度				○								○		
自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度	○											○		
	・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○									○		
	・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	○											○		

注1) ○は、環境影響評価を行う事項を示す。  
 2) 濃い網掛け (■) は、東京2020大会全体としての広域的な視点により評価する事項、または、今後競技を対象とした環境影響評価の際に検討を行う事項であるため、本書では対象としないことを示す。  
 3) 薄い網掛け (□) は、具体的な計画が未定であり、今後の計画の熟度に応じて別途検討を行うため、本書では対象としない事項を示す。なお、薄い網掛けにおける○は、調査計画書において選定した事項を示す。

表 8-2(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連

環境影響評価の項目		区分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後								
			施設の建設(仮設除く)	工事用車両の走行(仮設除く)	建設機械の稼働(仮設除く)	建築物の出現(仮設除く)	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働			
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度	○				○					○		
			・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度	○				○						○	
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度	○											○
			・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度	○											○
			・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度	○											○
			・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度	○											○
		・ 文化財等の回復の程度	○											○	
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度			○	○							○	
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○				○						○	
		エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○											
温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○		○						○		
	エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○		○						○		
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度				○								
			・ 未利用地の解消の有無及びその程度												
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度					○						○	
	移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度					○								
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度												
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度												
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度												
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度												
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減												
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度			○	○							○	
・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度					○	○							○		
・ 電力供給の安定度					○	○							○		
	衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度													
	消防・防災	・ 耐震性の程度 ・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度			○	○							○		
交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○											
	公共交通へのアクセスシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○							
	交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○					○		
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度													
	雇用	・ 創出又は消失すると思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等													
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度													

注1) ○は、環境影響評価を行う事項を示す。

2) 濃い網掛け(■)は、東京2020大会全体としての広域的な視点により評価する事項、または、今後競技を対象とした環境影響評価の際に検討を行う事項であるため、本書では対象としないことを示す。

3) 薄い網掛け(○)は、具体的な計画が未定であり、今後の計画の熟度に応じて別途検討を行うため、本書では対象としない事項を示す。なお、薄い網掛けにおける○は、調査計画書において選定した事項を示す。

表8-3(1) 選定した項目及びその理由

項目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。
土壌	土壌に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「土壌汚染物質の変化の程度」、「地下水及び大気への影響の可能性の有無」とする。 なお、「汚染土壌の量」は、計画地の一部が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）に基づく形質変更時要届出区域に指定されているが、現時点では工事に伴う汚染土壌の全体量が不明なため、フォローアップ報告書において汚染土壌の量を明らかにする。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「生物・生態系の賦存地の改変の程度」、「新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度」とする。
水循環	水循環に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設、開催後における施設の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「地下水涵養能の変化の程度」、「地下水の水位及び流動の変化の程度」とする。 なお、「湧水流量の変化の程度」は、計画地及びその周辺に湧水箇所が存在しないことから、予測事項としない。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、「水生生物相の変化の内容及びその程度」は、水生生物の生息地が計画地に存在しないため、予測事項としない。また、「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は、計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないことから、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」とする。 なお、「会場設備等からの騒音及び振動」は、計画地内に騒音規制法（昭和43年法律第98号）に基づく特定施設や振動規制法（昭和51年法律第64号）に基づく特定施設等の騒音・振動の発生源となる施設は設置しないため、予測事項としない。
日影	日影が生じるおそれのある要因としては、開催前における建築物の出現、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度」、「冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度」、「日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物」とする。
景観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における建築物の出現、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「圧迫感の変化の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。



表 8-3(2) 選定した項目及びその理由

項 目	選定した理由
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
史跡・文化財	史跡・文化財に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度」、「文化財等の周辺の環境の変化の程度」、「埋蔵文化財包蔵地の改変の程度」、「会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度」、「文化財等の回復の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の建築物の出現、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における建築物の出現が考えられる。 予測事項は、「自然地の改変・転用の有無及びその程度」とする。 なお、「未利用地の解消の有無及びその程度」は、未利用地の有効利用はないため、予測事項としない。
地域分断	地域分断に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における建築物の出現、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度」とする。
移転	移転が生じるおそれのある要因としては、開催前における建築物の出現が考えられる。 予測事項は、「施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における建築物の出現、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における建築物の出現、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、「津波対策の程度」は、計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。

表 8-3(3) 選定した項目及びその理由

項 目	選定した理由
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。

なお、調査計画書で施設の存在（本書では、建築物の出現）における予測事項として選定したもののうち、施設の建設において既に影響が発現するものについては、施設の建設における予測事項とするとともに、設備等の持続的稼働における予測事項とした。

表 8-4 選定しなかった項目及びその理由

項 目	選定しなかった理由
水質等	施設の建設及び運営に伴う排水は、下水排除基準を遵守した上で公共下水道に放流される。このことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	東京 2020 大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
文化活動	東京 2020 大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	東京 2020 大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	東京 2020 大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	東京 2020 大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
衛生	東京 2020 大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
経済波及	東京 2020 大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
雇用	東京 2020 大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	東京 2020 大会の実施による事業採算性については、全体計画の環境影響評価の中で個々の会場ごとに評価する。